

久万高原町 議会だより

第20号

2019年
2月



久万中学校・美川中学校 少年式



議長年頭あいさつ	2
12月議会概要	3
一般質問	4~11
議会2日目	12
常任委員会付託議案一覧表	13

総務文教厚生常任委員会	14~17
産業建設常任委員会	18~21
議会最終日	22~24
編集後記	24

主な内容

平成31年 年頭に寄せて



久万高原町議会議員
久万高原町議長

瀧野 志

町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。皆様には、昨年中は、町づくりや議会活動にご理解をいただき、ご支援ご協力賜り誠にありがとうございます。紙面を持ちまして心より御礼申し上げます。

さて、昨年は、その年を表す漢字が、「災」でありましたが、7月におきました豪雨災害により、愛媛県下でも多くの皆様が被災されたりお亡くなりになりました。お見舞いとお悔やみを申し上げます。思いますが、災害対策につきましては、南海、東南海地震が今後30年以内に80%の確立で起きるといわれています。ま

た、1時間に100ミリを越すゲリラ豪雨や、海面の上昇によつて、台風の大規模化や日本を通る台風が多くなると言われています。多くの災害から町民の皆様を守る対策が必要であります。

今年、合併して15年を迎えます。平成16年から10年間、合併特例交付金を14億円いただきましたが、今年で1円も無くなります。また、町内人口が1万人を切ると開業医でさえ経営が成り立たなくなると言われてきました。どのような事業も厳しい時代をむかえました。農業、林業、商工業、観光業など、それぞれの産業別の対策を早く立てるべきだと思えます。議会と住民の皆様との懇談会である方が発言されました。「町として

先ず何をするのか、しっかりと決めて早く取り組むべき」と、その通りだと思えます。

議会は、特にここ数年、町内の情報通信の利用が光通信で出来る様に努力してまいりました。町が推進してまいります移住、定住、企業誘致や教育、医療、福祉、農業、林業、商工業など、どの業種をとつても、光通信を使つて経費節減など創意工夫に取り組まなければ、経営が成り立たなくなつたり、人手不足で事業継続が難しくなると思えます。AI(人工知能)がありとあらゆる分野に利用される時代であり、スーパーのレジ係、車の運転手等の職業が無くなると思えます。町民の皆様が生活について、町は対策を立てているのか疑問に思えます。

平成30年度の当初予算は139億円でした。昨年と比べると12億円減となつていきます。町民の皆様が払っている町民税は8億6000万円です。町の借金の総額は148億円です。まちの貯金であります「基金」は70億円です。基金は全額を建築費に使う事はできません。また、5年ごとに行われる国勢調査で町内人口が減つた分の交付金が減額されます。財政的に

厳しい時代を迎え、町の経営も工夫が必要と思えます。

私は、町長と議会、町の職員、町民の皆様が一体となつた町づくりを願つてきました。20年後にこの町に何人の皆さんが住んでいるのか分かりません。今しか出来ない事があると思えます。このままではないのでしょうか。町民の皆様から請願が出され、議会として決定した高齢者や障害者の「足」の確保についても先送りです。今、特に子供を産み育てる世代が少ないため、若者が住み続けることができない町づくりが喫緊の課題です。町はもつと町民の為の町政に専念すべきだと思えます。時間が有りません。何事も早く決めて早く実施すべきだと思えます。

議会は、町と対等な立場で、町の課題、地域の課題を解決する施策を議論していくことにより、町民の皆様に対して責任を果たして行きたいと思つていきます。今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、町民の皆様にとりまして今年一年が実り多い素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

平成30年

12月定例議会

12月11日～21日

12月11日から21日まで開催し、専決処分(損害賠償に係る和解・賠償額について6件)、について報告があった。議案として、一般会計2件、特別会計9件の補正予算、町有施設の指定管理者の指定9件、町道路線変更、新町建設計画の変更について審議し、同意・可決した。また、決算特別委員会の審査報告があり、これを認定した。

□ 平成30年12月補正後予算

総額	157億2001万円
一般会計	96億1104万円
特別会計	39億4807万円
事業会計	21億6089万円

□ 平成30年12月主な補正

主な歳入

普通交付税	4502万円増	
国庫支出金	3988万円増	公共土木施設災害復旧国庫負担金
繰入金	3610万円増	財政調整基金繰入金 1992万円 学校教育施設整備基金繰入金 1500万円

主な歳出

教育施設エアコン整備設計委託料	1500万円増
災害復旧費(農地・町道・河川合計)	5470万円増

平成31年1月27日、久万中学校と美川中学校でそれぞれ少年式が開催されました。私は、美川中学校の少年式に出席しました。生徒たちの希望にあふれる姿に元気をもたせたい。同時に、生徒数が年々減少する現状をなんとかせねばと胸に刻んだ一日となりました。

(中野)



久万中学校・美川中学校 少年式

表紙写真の紹介

一般質問(1)



日野明勅議員

小規模農家の収入を増やす方策を提案する

問 柳谷地域63.6%、美川地域58.8%、面河地域54.6%、直瀬地域53.2%、明神地域49.4%。これは平成30年10月末現在、当町の高齢化率の高い地域である。当町平均高齢化率47.2%を大幅に超えており、大変深刻な状況と言わざるを得ない。向後、小規模農業を保持していくのは困難である。5年先、10年先を見据えた当町が、独自の農業政策に転換しなければ結果は見えており、儲かる農業への道は一層厳しいものとなるだろう。農地集約化、集落またはグループ農業の推進、農業機械の相互利用の確立、個人農業のあり方指導など、町から率先して行動を開始しなければ、高齢者は暗中

模索の状態であると言える。全農家にしつかりとした農業方針を示すことこそ、行政の務めと思う。町長の所見を伺いたい。

答

今年、夏秋トマト・ピーマン販売金額が、ここ5年間で最も高くなった。本町の農産品の評判は上々で、更なる増産依頼を受け、本町農業の可能性を感じるとともに、より一層の農業推進に注力しなければならぬと感じている。我が町において、集落の景観を守り、農地維持に奮闘いただいている小規模農業者の役目は極めて重要だ。トマト・ピーマンのような産地化した農業と、各集落で農業の多面的機能を維持する少量多品目農業とのバランスは、本町農業が持続的に発展するためには不可欠だと認識している。小規模農家に経済が循環するには直販所が大きな役割を担う。このため、集出荷システムを整え、簡易ハウスや鳥獣被害対策資材の補助を行うなど様々な施策を講じている。また、集落で農地を守る日本型直接支払制度に基づく活動組織は現在51組織、中山間地直接支払36協定、多面的機能支払15組織であり、総額約6千万円の支援を行っている。今後小規模農家支援など、農業

振興に真摯に取り組んでいく。

河野町長

問 厳しい年代別人口構成を考えたとき、小規模農家は現状のままでは崩壊を招きかねない。援助の手を差し伸べるべきではないか。種々の農業施策を実施するリイダー育成が大切だ。農業公社を核として、いづれどこかに小規模農業者の集合体を形成するべきと思うがいかがか。

答

庭先で小規模農業を営んでいる方の想定だと思いが、そのような高齢で元気に営農されている方のお話をいたただく機会を設け、一番効果的な方法は何か、大事なことは収入を得られることだから、近いうちにその研究を行っていききたい。

河野町長

問 小口農家が小遣いを稼げるような状況、限られた年金で生活している高齢者が何とかならないかと思つ。この点、十分考慮の上、検討願いたい。

ICT※1の農業への活用の考えは。

答

ICTをしっかりと導入して、付加価値の高い産業に結び付けなければならぬ。農業においてもICT

やAI※2を利用していかなければならないと思う。農業従事者の労力低減にICTを使う道があると思う。

河野町長

問

優良農地の集約化と共同農場育成は、ICTを使えば面白いと思う。また、バイオマスを活用した農業団地の醸成、フルシーズンで野菜や果樹栽培ができるようにならないか。ICTによる栽培方法、栽培管理や販売方式の策定ができないか。こういう方向付けはいいかがか。

問

高齢者が農業をしていき、お金が稼げる状況がどうしても欲しい。介護施設等はお金がかかる。小規模農家の収入の道がないかお伺いしたい。

答

趣旨はよく理解する。今後、担当課と、少し時間をいただいで、可能性の可否をしつかりと見極めて報告したい。

河野町長

※1 ICT:さまざまな形状のコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称
※2 AI:人工知能。人間の知的ふるまいの一部をソフトウェアを用いて人工的に再現したもの

一般質問(2)



大原貴明議員

公立幼稚園での預かり保育時間の延長と、長期休業中の預かり制度の創設を提案する。

問

H27年度に策定された久万高原町子ども子育て支援事業計画は3年が経過した。この間、町を取り巻く環境も大きく変化し、特に移住促進施策の効果によって、子育て世代の移住者が増えてきた。近年は共働き世帯の増加が著しいが、移住者に限らず、町内の子育てをしているどのような世帯においても、思う存分に仕事をし、より多くの収入を得たいという望みは尊重すべきである。ここで課題となるのは親が働いている間の子供の居場所だ。本年から川下4幼稚園の預かり保育が開始されたが、時間が17時までであり、非常に利用しにく

いという話を聞いた。また、すべての公立幼稚園では夏休みなどの長期休業中は預かり保育が実施されていない。若い世代が安心して働き、子育てがしやすい町にするために、本町の預かり保育制度について、利用しやすいように再検討するべきと思うがどうか。

答

幼稚園の預かり保育は、安心して子育てができる環境整備施策として、9月から川下4園において、14時から17時までを引き続いて預かるものとして開始した。現在では4園16名中13名が利用している。当初は、もう少し遅くまで預かってもらいたいとの要望もあったが、最近ではそのような意見もなく順調と聞いている。公立幼稚園の現体制では、土日や祝祭日、長期休業中などの利用や時間延長は、極めて難しい状況である。これまでと同様に預かり保育を続けながら、子育て環境充実に努めたい。

将来を担う子供にとって、より良い生育環境の向上と、家庭や地域における子育て支援を充実させるべきとの思いは議員と同様だ。しかし、少子化や地域社会の変化などによる、家庭や地域における子育て機能の低下が指摘される中で、人口減少地域でのきめ

細やかな保育サービスの維持確保は大きな課題でもある。31年度は「子ども子育て支援事業計画」の見直しを行い、第2期計画を策定する予定だ。議員のご指摘や地域の実績、ニーズを踏まえ、課題解決に向けて研究していきたい。

河野町長

問

預かり保育について、現在では延長の要望があがっていないとのことだが、普通に考えればフルタイムで働けないということであり、働いている方に無理を強いているのではないかと思う。せめて18時までにしていただかなければ利用しにくい。

また、来年度からは、就労に係る研修を受けながら一定の生活支援を受給することができる「シングル子育て家庭移住支援制度」がはじまるが、このような制度を設けるのであれば、より利用料の安い公立幼稚園での預かり保育、そして時間延長への要望が出てくると思うし、フルタイムで働ける環境づくりを望む声が出てくることは必然だと思うが、町長は今の制度で十分だとお考えか。

答

今のところ、18時までには延長をという要望はいただいていないが、議員か

らのご指摘があった「シングル子育て家庭移住支援制度」のこともあるので、要望がでなければ教育委員会と協議しながら検討していきたい。

河野町長

問

町内には年中無休の店舗や施設が増えている。そこに勤める方々から、休日の預かりがないという意見を頂いている。また、病児・病後児保育については、松山圏域連携事業で取り組んでいるが、実施時間や送迎サービスがないことなどから現実的には利用しにくい制度だ。先般の報告によると、昨年度は3人が8回、今年度はゼロである。子育て支援は多くの部署が連携して取り組むべき課題であり、来年度見直しの「子ども子育て支援事業計画」の中には、部局横断でもって、これらの課題がひとつでも解決できるように具体的な施策を入れていただきたいがどうか。

答

預かり時間の延長や休日、祝祭日に対応できる人材確保の点もある。各部署との打ち合わせや調整が必要である。少し時間をいただいで検討結果を報告したい。

河野町長

一般質問(3)



川崎勝弘議員

**森林整備について
森林整備に係る相談窓口を！**

問 久万高原町は、面積の9割が山林で、そのうち約80%が人工林である。平成17年度から新たな取り組みとして、久万林業活性化プロジェクトなど関連事業に取り組み、林業の振興が図られている。近年は、高度林業機械の導入により労働環境の改善や、担い手確保のため、森林整備担い手確保育成対策事業や林業経営支援など行い、成果を上げている。その反面、枝条や土砂の流出により、暗渠の詰まりや谷をせき止め、山林の中を水が流れ、町道や

林道を洗い、地域の住民や山林所有者から、苦情やトラブルが発生している。このまま放置すれば、今後の森林整備に大きく影響を及ぼす。町は、各種補助金や支援をしていく。苦情対策について、どの様にこれから関わっていくのか。

答 町はこれまで、間伐等による森林整備を推進してきた。久万林業活性化プロジェクトにおいて、団地を造り作業道を開設し、高性能林業機械を導入し、コストの低減を図り、森林所有者への所得の還元を図ってきた。林業機械の大型化が進み、皆伐作業が増加している。一部の業者においては、町民の方から苦情が出る案件も発生している。町は、町民の情報やパトロールにより、公道の破損・掃除不足・暗渠の詰まりなど把握した場合には、職員が現場確認を行い、関係者に指導や要請を行うなどの対策をとっている。今後においても、森林整備の施策を要因とする案件があれば、県・森林組合など関係機関と連絡を取り合い、的確な対応を取っていく

たいと考えている。

河野町長

問 町は森林整備担い手確保育成対策事業など、補助事業を行っている。その中に林業架線技術コースがあり、町内には林業架線作業技術コースを受講されて免許・資格を取得している方がたくさんいる。高性能林業機械と架線作業を複合すれば、枝条や未利用材の搬出も可能になる。又、路網整備による掘削も少なくなり、土砂の流出も減少する。架線作業・集材機に対する補助はあるのか。

答 架線に対しても、国・県等の補助事業・町単独の場合も林業機械を想定している。対象と考えている。

林業戦略課長

問 認定林業事業体は18団体あり、機械も充実していると思う。潜在的な林業事業者50名以上いると思うが、架線集材資材はまだ持っていないと思う。積極的な指導補助をしては。

地域には、架線による森林整備を希望される方もいる。

川や谷の周辺や人家の裏山など、路網による掘削を避けたいと思う方もいる。そのような情報収集や相談できる窓口を設けてはと思うが。

答 町単独事業においては、架線等の事業についても活用できる。相談窓口の話は、活性化センターの方で、相談窓口が出来ないか話し合いを行っている次第である。今後もそのようなことも進めて行きたいと思っている。

林業戦略課長



砂防堰堤

一般質問(4)



岡部史夫議員

林業担い手確保について

問 林業の分野別の人材不足実態数および現在進めている担い手確保策の効果について。

答 活性化事業ではH25年度比較で業者数3減、林業従事者30人減、造林作業者は現状15人、組合事業では素材生産30人・造林5人不足、原木市場では森林組合3人・久万木材市場3人不足、製材部門では組合が4人・民間業者1社で2人不足している。林業機械導入補助金申請者15人、認定事業体に対する技術の向上・福利厚生充実の補助金を交付、林業経営講座には

12名が受講。

河野町長

問 一番肝心な林業後継者の問題には答えていない。担い手確保育成により人材不足が解消されれば林業関連の雇用・生産額へのプラス効果は。

答 林業総生産額は、H25年の25億円をH33年には35億円に増やし、林業従業者・従業者数H27年の222人を300人へと増やす構想である。

林業戦略課長

問 過去の説明でその数字は聴いているが、人材不足・後継者問題がどの程度解消されているのか疑わしい。当初予定からして、現在どの程度解消しているのか。

答 現状では中々増えていない。これから施策を考えなおして努力する。

林業戦略課長

問 今後の取り組みを考え直すと言われたが、本当に林業の人材育成が計画的

に進むのか大変心配だ。現在、この町から京都府立林業大学校で学んでいる生徒もいる。特徴を活かした林業大学校は全国で約20校ある。優良な林業資源を有する当町こそ、将来林業分野で中核を担う強い意志を持つ若者を対象とした森林環境政策・林道作設技術・施業技術・高所伐採技術などを専門的に学べる「森林アカデミー」設置を検討して人材養成機関を整備すべきではないか。

答 県の林業研究センター内に愛媛大学大学院で林業講座も開設され、林業に従事したい方を対象にリカレントもある。林業研究センターや中央林業活性化センター内にも林業講座を設けているが、全体を取りまとめたものがアカデミーであり、相対的に担い手不足解消につながることから、今後研究していきたい。

河野町長

問 この町で生きていく・住んでみたいという若い方も沢山いるはずだ。山に生き、山を知り尽くし、

長年林業のイノベーションに取組み、積極的に林業の施業技術に長けた方も、今まさに高齢になりつつある。県立上浮穴高校の森林環境科との連携も含めた人材育成機関は必要であり、時間が無い事はお分かりのはずだ。積極的な取り組みを進めて欲しい。

答 人材機関や人材の育成は大変大事であると思っている。農業については、農業公社で補助等手厚い手当を拡充してきたが、林業についても、宇和島市において様々な取り組みが始まっている事例もあり、林業部門についても、これから移住していただく方への補助制度についても検討し、人材育成に努めていく。

河野町長

一般質問(5)



玉井春鬼議員

水源涵養確保の方策は

問 生活水源法、機能について大事な水源の涵養機能を守っていくために皆伐跡地の植林、下層植生を発達させるような間伐施業についてお聞きしたい。

答 私たちの生活に必要な水を守るためには、森が持つ水源涵養機能が重要である。この機能を発揮させるには手入れ遅れの森林の間伐、放置林の整備をどう行っていくか方策をとっていきたい。来年度より施行される森林経営管理制度を利用して水源区域に対処林があれば、町が優先的に整備をすることも

念頭に考えていきたい。

河野町長

問 本町には石鎚国定自然公園、皿が嶺連峰県立自然公園、四国カルスト県立公園の景勝地があり、この豊かな自然公園を維持していくために、県と連携し、必要な森林整備を行い、久万高原町のシンボルとなるような多種多様な森林を育成し、水の涵養に努めるようお願いしたいがいかか。

答 自然公園について国、県と連携して、森林整備を行うことが必要になると考えている。公の森林整備、個人の放置林整備について、新たな森林環境税が創設される見込みですので整備を進め生活水源の保護を図りたい。
林業戦略課長

問 杉、ヒノキが太り下草が生えない森林地帯になり水が枯れている。このような状態を早く解消するためには早急に森林整備をしていただきたいがどうか。

答 議員が言われるように、森林の手入れができていなく下草もない状況の山が沢山ある。今後は林業戦略課とも協議しながら適正な森林の管理に努めて森林の整備を進め、水も守っていききたいと思う。

副町長

農業水利施設の老朽化対策は

問 続いて農業水利施設と老朽化対応として、補修や修繕をどう考えているかお聞きしたい。

答 農業用配水施設は、受益者の要望により、補助事業や町単独事業により機能の回復を図っている。農業を維持するため、今後も受益者と協議しながら、施設の劣化状況に応じて、適時適正に改修を実施していきたい。

河野町長

問 今後、小規模農業、家族農業といろいろな農業の方法があるが水が一番であり、速やかに水路、施設の修理をしていただきたいがど

うか。

答 施設、水路の場合は、単独とか、原材料支給、業務委託等で迅速に対応している。なお、30年度の災害については、来週、農業施設の災害査定があるので全部、復旧できると考えている。

建設課長



水源となる石鎚山系

一般質問(6)



熊代祐己議員

超高速ブロードバンド基盤整備の進捗状況と今後の予定並びに展開について

問 町内三ヶ所で住民説明会を開催し3カ年の整備を目標としていると聞いたが何年何月に完成するのか。また、超高速ブロードバンドを利用したICTの活用について行政は町民のためにどう役立てるのか、今後の課題や問題点をどうとらえているのか、町長の所見を聞きたい。

答 12月4日から6日にかけて第1ブロックの久万父二峰地区から住民説明会をはじめた。川瀬、直瀬、面

河、伊予東川を第2、伊予美川、柳谷、西谷を第3ブロックと三つの工区に分けて今後3年間程度をかけて順次、整備を計画している。

また、ICT利活用を検証するためにサテライトオフィス誘致に向けた実証実験を行っている。町外事業者に、町内で業務を行ってもらいインターネットを利用した遠隔会議や児童、生徒を対象にプログラミング教室を開催した。さらに、職員がスキルアップし、具体的にICTを活用した施策に取り組んで行くことが重要と考えている。

河野町長

問 工事着手が来年度であれば完成予定が平成34年3月の年度となるが、当初予算で債務負担行為を3年で聞いている。この場合、平成33年3月になるが予算の有効活用はできるのか。

答 3ブロックに分けて整備をするが、既に6月補正で4億円計上している。3年間でそれぞれの年度で予算措置をして実施設計、工事にかかるので債務負担行為は

現在の見込みで対応可能である。

総務課長

問 予算は有効に執行していただきたい。そして、教育について2020年より実施されるプログラミング教育や英語、アクティブラーニングなどの対策は大丈夫か。平成33年3月で契約が終了するADDSL、リーチDSLの引き継ぎは大丈夫か。

答 2020年からプログラミング教育が開始されるが、光回線が無くてパソコンやタブレットに専用ソフトを入れることでプログラミング教育を行うことができるので対応していきたい。

教育委員会事務局長

答 IRU契約はNTTビズと協議して、契約期間を一定期間延ばして対応する協議を完了している。

総務課長

問 議会でもタブレットを利用したペーパーレスを進めて行きたいと考えてい

るが行政は今後どのように考えているのか。来年度、何かに取り組むための予算を検討しているのか。

答 庁舎内でのタブレットの扱いは、来年度の当初予算で実証実験的なものができるのか検討している。予算の中でICTの利用がよく見える予算編成したいと検討している。

総務課長



明神小学校のプログラミング教室

一般質問(7)



中野克仁議員

行政改革に関する特別委員会は何を検討しているのか

問 庁内で、副町長を委員長として行政改革に関する特別委員会が設置されていると聞いているが、どのような事について検討されているのか。

答 これまでも、財政の健全化を図るために、職員の削減、公債費の縮減など義務的経費の削減に向けた取り組みに努めている。合併特例加算税の終了、普通交付税の減少が見込まれている厳しい財政状況の中でも、安全かつ良質な公共サービスが持続

的に提供できるよう、行政改革に係る取り組みを今年度開始した。

取り組みとして、今後見込まれる普通建設事業費の洗い出し、社会保障費の見直しなどに基づいた中期財政計画や、公共施設管理計画を基本とした施設の長寿命化、更新、除去など個別施設計画の策定を行い今後の財源を把握することとしている。その一環として、休眠基金を見直し、総合管理基金の設置を予定している。

副町長

行政コスト計算書の導入は

問 改革を進める上で町有施設の現状把握、今後の管理方法の確立は早急に結論をだす事が必要だ。それと、施設の契約で、合併時から先送りになっている案件についても、平等、統一的な解決を図った上でないと行政改革は進まないと思う。

それとは別で、経費の削減の面でコスト意識の醸成につながり、行政活動や施策の説

明責任を果たして行く上で有効とされる行政コスト計算書の導入は考えているか。

答 合併前の町村の平等性を踏まえての計画については言われるとおりだ。改革については、全課長で進めている。

副町長

答 行政コスト計算書については整備している。別の機会に説明する。

総務課長

職員のスキルアップが歳出削減につながるのでは

問 歳出の削減は大切だが、国民宿舎解体工事の大幅増額補正、また、毎年の多額な業務委託料、業者から出された金額が適正かどうかチェック出来ない、スキルが無いため業務委託せざるを得ない等の答弁を度々受けている。現状打破するためには職員のスキルアップを図る事、スキルを持った職員の採用育成、これが将来的には有効な手段だと考えるが、町長の考

えを伺いたい。

答 指摘については同感だ。コンサルタント任せの所も、これは我が町だけではなく、他の市町も同じような状況だ。これはどこかで人員削減のあたりを受けている所もある。かつては、そういう風な技術者もいた時代もあったように聞いているが、歳出削減の中で人員削減をしていく、その中で一つこの影響も生まれてきているように思いますが、今、指摘があった事、繰り返し返すが同感であるので、専門的な知見を有した技術者を、確保できないか、庁内で検討を始めたところであるから、それが成就できるような努めていく。

河野町長

一般質問 (8)



土居通秀 議員

6次産業化による農業所得向上対策について

問 町の総合計画や、まち・ひと・しごと創生総合戦略による「6次産業化」の取り組みの現状と今後の道筋についてお聞きし、併せて、新商品開発支援事業補助金の下限40万円撤廃について伺う。

答 6次産業化については、愛大との連携協定を締結し、「久万高原町6次産業化戦略会議」を設置し、その会でも歴史や地の利を踏まえ地元の方が自信を持った製品でなければ都市部の人の心を捉えられない等の提言もいた

だき、地域資源を住民参加で掘り起こす意味から「漬物発掘コンテスト」を開催したところ大変盛況であった。今後においても、地域自慢の特産品製造販売の仕組み作りを進めていく。産業振興支援事業において、起業・商品開発・空き店舗活用・事業継承等の支援で、補助金上限200万・下限40万と定めているが下限の撤廃は考えていない。

河野町長



食品のバック詰め例

問

農家が持つノウハウには、漬物・農産加工物等生産の基本がたくさん眠っており宝の山であることから、今後、行政において学習の場を設けるべきである。

農家の方が商品化するため最低限の経費投入する場合、シーラー・バック詰めする機器とハカリがあれば「道の駅」に商品として出すことが可能になり、実際には意外と安く機器の購入ができる。しかしながら、下限40万というのは、60万以上の事業でなければ対象にならない。どこに税金や予算をつぎ込むかが行政の一番大切な部分であり、是非とも新年度において検討していただきたい。

答

かつては「久万山漬け」という名品があり、今もその歴史は継承されていることは承知している。新しい加工品への取り組みについても積極的に進めていきたい。シーラー等機器の費用が高くないということも踏まえ、実際に取組んでいる方々の意見も参考に農業戦略課で検討していきたい。下限を下げたいという

理由は充分理解した。

河野町長

農家には低所得の方が多いが、すばらしい技術・農産加工品で商品化できる方が多くいることを理解していただき、生産意欲のある方が6次産業化のテーブルに乗れるよう予算の配慮をお願いする。

土居議員

議会二日目

質疑

報告第25号 損害賠償に係る和解及び損害賠償額の専決処分の報告について

熊代 救急車両の事故の原因は何か。

消防長

駐車場から車両を出す際の不注意によるものだ。大型免許を持っておりながら、初歩的ミスで事故が発生した。

熊代

救急車両で起こした事故だが、何かあった時、うっかりで済む問題かどうか。

消防長

緊急車両であるから、傷病者等に乗せている時なら、更に大きな問題になる。安全運転教育については、いろいろ努めているところだが、初歩的なミスが過去にもあったので、繰り返し指導をしていかなくはと考えている。私の責任としても管理不十分があったと反省している。

議案第95号 道の駅「天空の郷さんさん」地域食材展示即売施設の指定管理者の指定について

高橋 「さんさん」の運営について、今年度、一般より株主を募集する計画になってい

たが、進捗状況、今後の予定、方針について、また、職員の派遣等、役場が今後どう係っていくのか伺いたい。

ふるさと創生課長

株主募集については、今年度の経営状況をしっかりと把握し来年度に入ってから募集したい。

「さんさん」のインフォメーション、観光案内については当面、町の直営で引き続きやらせていただく。

高橋

今までは、出荷者の皆さんに対して、種、苗の世話、アドバイス等、割合細かい交流があったが、現在の体制では、その辺に不安を持っていて方がいると思う。今の体制においてその辺をどう対応しているのか。

ふるさと創生課長

そういう不安があることは

承知している。今後、農業戦略課、農協と協議しながら、何を作るのか、生産方法、出荷形態、その辺りの研修という情報提供をしっかりとやっていきたい。

大原

道の駅の店舗の前で常設で販売している方がいるが、場所についても別の場所ではないかと取り決めがあったと思う。同じようなものを出荷されている方や、ファーストフードの方から、その販売に影響があるのではという声も聞いている。この辺についての明確なルール作り、出荷者等に影響が出ないような方法をとっていただきたいが。

ふるさと創生課長

敷地内のお客様の動き等勘案して、直売所前で臨時の販売といえますか、それを設けている。出荷者からも、その様な話があるので、株さんさん久万高原と協議してより良い方向を検討したい。

議案第97号 農村活性センターみかわの指定管理者の指定について

玉井

道の駅みかわレストランについて、老朽化が激しく、改装の話があるわけだが、一向に進んでいない。どう考えているか。

ふるさと創生課長

地方推進交付金等活用しながら機能を高めていきたいと考えている。内部的に検討中だ。

議案第98号 レストラン湖畔やなだにの指定管理者の指定について

玉井

10年以上、レストラン営業していないが、他の事、例えば、老人憩いの家とか、役に立つように使った方がよいと思うが。

ふるさと創生課長

レストランとして一般には開放していないが、仕出し、宴会等で営業している。当面は今の形態で使用していく。いまの指摘については検討させていただく。

総務文教厚生常任委員会 産業建設常任委員会 付託議案一覧

番号	件名	概要	委員会採決
議案第88号	平成30年度久万高原町一般会計補正予算(第3号)		可決 全員一致
議案第89号	平成30年度久万高原町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		可決 全員一致
議案第90号	平成30年度久万高原町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		可決 全員一致
議案第91号	平成30年度久万高原町訪問看護事業特別会計補正予算(第1号)		可決 全員一致
議案第92号	平成30年度久万高原町浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)		可決 全員一致
議案第93号	久万町・面河村・美川村・柳谷村新町建設計画の変更について	整備事業及び事業費を追加(学校教育の充実。家庭や地域社会との連携強化・総合的な学習の促進)	可決 全員一致
議案第94号	久万高原町溪泉亭の指定管理者の指定について	現在の指定管理者の指定期間の満了に伴い、公募により選定されたものを指定管理者として指名するもの。〔面河アウトドアセンター〕	可決 全員一致
議案第95号	久万高原町交流拠点施設道の駅「天空の郷さんさん」地域食材展示即売施設の指定管理者の指定について	現在の指定管理者の指定期間の満了に伴い、公募により選定されたものを指定管理者として指名するもの。〔久万高原町商工協同組合〕	可決 全員一致
議案第96号	柳谷農産物直売所の指定管理者の指定について	現在の指定管理者の指定期間の満了に伴い、公募により選定されたものを指定管理者として指名するもの。〔柳谷生活研究会〕	可決 全員一致
議案第97号	久万高原町農村活性化センターみかわの指定管理者の指定について	現在の指定管理者の指定期間の満了に伴い、公募により選定されたものを指定管理者として指名するもの。〔株式会社みかわ〕	可決 全員一致
議案第98号	久万高原町レストラン湖畔柳谷の指定管理者の指定について	現在の指定管理者の指定期間の満了に伴い、公募により選定されたものを指定管理者として指名するもの。〔柳谷産業開発公社〕	可決 全員一致
議案第99号	久万高原町姫鶴荘及び久万高原町姫鶴平コテージの指定管理者の指定について	現在の指定管理者の指定期間の満了に伴い、公募により選定されたものを指定管理者として指名するもの。〔柳谷産業開発公社〕	可決 全員一致
議案第100号	久万高原町淡水魚加工施設の指定管理者の指定について	現在の指定管理者の指定期間の満了に伴い、公募により選定されたものを指定管理者として指名するもの。〔柳谷産業開発公社〕	可決 全員一致
議案第101号	町道路線の変更について	国道494号線の道路改良工事に伴い、起点の位置を変更するもの	可決 全員一致
議案第102号	平成30年度久万高原町一般会計補正予算(第4号)について		可決 全員一致
議案第103号	久万高原町交流拠点施設道の駅「天空の郷さんさん」地域食材展示即売施設の指定管理者の指定について	現在の指定管理者の指定期間の満了に伴い、公募により選定されたものを指定管理者として指名するもの。〔株式会社さんさん久万高原〕	可決 全員一致

総務文教厚生常任委員会

議案第88号「平成30年度久万高原町一般会計補正予算(第3号)」

予算の補正額は、歳入歳出ともに1億1648万円が追加され総額は、96億1104万円前年度同期予算と比べ8.8%の減

歳入

地方交付税

普通交付税4502万円

分担金及び負担金

農地農業用施設補助災害復旧費分担金93万円

国庫支出金

公共土木施設災害復旧費国庫負担金3988万円

県支出金

農地農業用施設災害復旧費補助金2910万円の減

林業用施設災害復旧費補助金2486万円

繰入金

財政調整基金繰入金1992万円

消防基金繰入金131万円の減

学校教育施設整備基金繰入金1500万円

環境保全基金繰入金250万円

町債

補助災害復旧事業債160万円の減

歳出

総務費

災害等に対する時間外勤務手当1353万円

民生費

介護保険事業特別会計繰出金625万円

平成29年度自立支援事業国庫負担金精算返還金233万円

ひとり親家庭医療費124万円

衛生費

環境衛生センター路面補修工事250万円

消防費

平成31年度新規採用職員に貸与する被服及び安全装備品の購入費156万円

消防団員の活動服等の更新費用140万円の減

公開型GISハザードマッププテータ移行業務委託料136万円

教育費

町内教育施設エアコン整備設計委託料1500万円

中学校生活支援員賃金100万円

審議 総務関係

大原 先般、総合防災訓練が行われ消防団員として参加をした。救助工具の使い方をレ

クチャーしてほしいと依頼があり集会所に行った。「救助工具セットミニ」というものが配備されていたが、救助工具とは言えない日曜大工に近いもので、自主防で使うのは危ないと感じた。今後配布されるのであればプロの目を入れたものと思うが。



レスキュー ミニ

危機管理室長 家が倒壊しており、狭所で誰でも使用できる小型の資機材を配布した経

緯がある。今後購入する場合
は、危機管理室の方でも検討
したいと考えている。

滝野 ハザードマップの話が
あったが、30年以内に南海・
東南海地震が70%、80%の確
率で起きると言っている。M

9.1の地震が起きれば、東
京・静岡・名古屋・大阪を中心
に約32万人の方が亡くなられ
ると言われている。備え方に
よつたら随分助かると言われ
ている。ハザードマップを作
られるのであれば、想定をし、
実際に町民の皆さんが使える
シンプルなものと思う。高
齢化の時代で、要介護者の避
難の問題とか、多くの問題が
我が町の場合はあると思う、
どういう対策を考えているの
か。

危機管理室長 高齢化が進ん
でおり、一般の防災訓練にお
いて、苦勞されたという声を
聴いている。

そういったことから誰もが

見やすい防災マップの作製を
心掛けなければいけないと痛
感している。高齢化と過疎化
が進み、共助の面が心配され
るところである。高齢者同士、
お互いが助け合う共助につい
ても、自主防災組織の中で指
導していく。

滝野 一番肝心なのは自助、
自分の命は自分で守ること。
今は、消防団も一緒に参加し
ながら自主防災の訓練をして
いるが、本来の自主防災の訓
練に立ち返り、自分の命は自
分でという事を町民の皆さん
に知らせるべきだと思うが。

総務課長 今回のハザード
マップについては新たに作る
のではなく、昨年度末に策定
した防災マップを、情報系で
スマホとか役場の中でデー々
として見られるシステムを作
るもの。今回防災訓練を実施
して痛切に感じたのは、自主
防災組織の参加が4割で非常
に厳しい現実を突きつけられ

たと認識している。高齢化し
ている中で今の防災の考え方
は、町の方から住民の方にお
知らせしている。ある意味で
は一方通行的な所があるとい
うところを反省している。自
助の部分で住民の方がいかに
積極的に参加してくれるよう
にもっていくかというところ
で、地域ごとの防災マップを
作っているところもあり一番
大事な所かと考えている。

滝野 町民の皆さんは役場が
すべて助けてくれると思つて
いる。今の体制では役場は絶
対に助けられないと思う。だ
から自主防災をしつかりやら
なければならぬ。早急に町
民が安心できる体制をとつて
もらつたらと思う。

総務課長 町がすべて面倒み
るといふのではなく、町や職
員がどう関わつて自主防災と
連携を取っていくかというこ
ろは、検討して具体的に進
めていきたいと思う。

熊代 町の河川水位観測所
は、久万川と面河川の2か所
となつている。父二峰・畑野
川・直瀬・面河・西谷・二篭、こ
の6か所ぐらいで観測をした
方がいいのではと思うが、2
箇所だけの観測で大丈夫なの
か。

危機管理室長 我々としても
心配なところである。これは
町だけの問題でもないので検
討したいと考えている。

教育委員会

高橋 初日、延長保育につい
て一般質問があり17時までだ
が延ばしたらどうかという話
があった。町長はそういう意
見は上がっていないという答
弁であった。保護者より当初
言つていた18時までできない
のかという話を聞き、教育委
員会に行き、調べた。当初ア
ンケートの中では、18時まで
というのが出たが、決定した
のは17時までで、それ以降18

時までという話はしていないという答弁だった。いったいどういう風なことをしたら声が上がったことになるのか。



幼稚園

しの悪いところがあるので、という風に危惧もされるので、しっかりと対応をしてもらいたいと思うが。

教育委員会事務局長 十分意見を確認しながら今後改善に努めて参りたいと思う。

議案第89号「平成30年度久万高原町国民保険事業特別会計補正予算(第2号)」

予算の補正額は、歳入歳出それぞれ2155万円が増額され総額は、16億6584万円前年度同期予算と比べ16.9%の減

歳入

特別調整交付金分(市町村分) 384万円の減
県繰入金600万円
普通交付税4502万円

歳出

療養給付費等負担金精算返還金159万円

調整交付金の精算返還金55万円

議案第90号「平成30年度久万高原町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)」

予算の補正額は、歳入歳出それぞれ3943万円が増額され、総額は18億250万円前年度同期予算と比べ1.3%の増

歳入

現年度分介護給付費国庫負担金519万円
現年度分地域支援事業交付金328万円
現年度分介護給付費支払基金交付金840万円
現年度分地域支援事業支援支払基金交付金354万円
現年度分介護給付費県費負担金491万円
現年度分地域支援事業県交付金164万円
現年度分介護給付費一般会計

歳出

在宅介護サービス給付費負担金4800万円
地域密着型介護サービス給付費負担金1200万円
施設介護サービス給付費負担金2200万円
在宅介護サービス計画給付費負担金700万円
介護予防サービス給付費負担金2400万円
介護予防サービス計画給付費負担金400万円
特定入居者介護サービス費負担金6200万円
第1号訪問事業費負担金390万円

繰入金388万円
現年度分地域支援事業一般会計繰入金164万円
介護保険事業運営基金繰入金605万円

高橋 保護者や町民の声は十分に吸い上げてもらうように。なかなか言いにくい風通

教育委員会事務局長 一般質問の答弁の中にも開始当初はそういった声もあったと答えており、学校の方に確認をした時には現在はそのような声はないということだ。

議案第91号「平成30年度久万高原町訪問看護事業特別会計補正予算(第1号)」

予算の補正額は、歳入歳出それぞれ28万円が増額され、総額は、2542万円前年度同期予算と比べ10.5%の増

歳入

前年度繰入金28万円

歳出

人件費28万円

議案第93号「久万町・面河村・美川村・柳谷村新町建設計画の変更について」

本町の新町建設計画について、「市町村の合併の特例に関する法律」第6条第6項の規定に基づき、新町建設計画(平成30年6月21日議決)について、事業の追加・変更が生じたため変更するもの。

報告第23号「損害賠償に係る和解及び損害賠償額の専決処分の報告について」

高橋 行政はいろいろな縛りの中でやっている。何回も事故が起きる危険な場所については十分精査し、安全対策を考えては。

総務課長 関係機関、警察も含めて検討してみたいと思っている。

滝野 毎議会、交通事故の専決の事案が出ている。執行権者であり人事権者である町長が、職員についてどのように指示し対策を立てているのか。

河野町長 職員の交通事故の数が多くことについては責任も感じている。機会を捉えて交通安全について話をしていく。

滝野 事故を起こした場合に

はペナルティもあると聞いたが。

河野町長 ペナルティについては賞与或いは昇給、昇進の時に反映をするようにしている。徹底した交通安全指導がいきわたるように努めて参りたい。

報告第25号「損害賠償に係る和解及び損害賠償額の専決処分の報告について」

中川 職種により偏る傾向があることを理解し把握している中、その職種に対して徹底的な指導はしているのか。

総務課長 運転業務の多い職種については、事故にあう確率は高くなる。複数回事故を起こした職員については、職員の負担で適性検査を受け、問題がなければ運転業務を再開する対策をとっている。

高橋 緊急車両でなければ立

ち入り検査は出来ないのか。

消防長 3名で動かなければ救急隊として成り立たない。兼務体制で運用しているのが一般的な運用体制である。

滝野 立ち入り検査、本所で対応できないのか。

消防長 体制についても見直し、出来る範囲でやっていきたい。

産業建設常任委員会

審議

報告第24号 損害賠償に係る和解及び損害賠償額の専決処分について

土居 バックの際に後方を確認するのは当たり前であり、油断と不注意が重なり、起こるべくして起こった事故だ。20台に一人の割合で副管理者を設けてはどうか。

総務課長 現在副管理者は3名である。

土居 改善の具体策が見えない。今までの事故のデータがあると思うがデータを視覚化したり、職員の了解を得て過去5年間の運転記録証明を確認する等、職員も積極的に安全運手に対する意識付けを持つことが大事と思うがどうか。

総務課長 具体的な提案をいただいた。参考にして検討する。

土居 我々も特別職の公務員であり、頻繁に事故報告を受けること残念でならない。繰り返すことのないよう自分のこととして取り組んでいただきたい。

議案88号 一般会計補正予算第3号

ふるさと創生課関係

中野 予算と直接関係はないが、総務文教厚生常任委員会でも協議された預かり保育の関連だが、シングル世帯の移住受け入れの事業を進める中で、現状の体制について担当課はどう考えるか。

ふるさと創生課長 委員ご指摘のシングル子育て家庭受け入れ後の、子供の預け先というのは大きな課題である。保健福祉課、教育委員会とも協議、検討していく。

中野 事業を提案して予算を計上するということは、その後の受け入れ体制や環境整備まで検討して計画されているのが通常と理解する。全体的にどの事業もしっかりした計画が大前提だと思うがどうか。

ふるさと創生課長 ご指摘を充分踏まえ一層受け入れ体制整備に努める。

中野 兼ねてより業務委託が多いので一覧表の提出を求めているが未提出である。何か問題があるのか。

総務課長 未提出であること誠に申し訳ない。決算審査の

際、計画策定に対しての業務委託料についての資料は提出したが、業務全般については役場内取りまとめで提出する。

中野 観光業者等に対して、何だかの調査を委託されたが内容と予算を伺う。

ふるさと創生課長 町内の観光事業者にアンケート調査をした。今年度予算計上している観光に関する動向調査の目的で実施した。各事業者の観光に対する取り組みや、町の観光施策に対する要望等の聞き取り調査であり予算は200万である。

中野 700万との話も聞くがどうなのか。

ふるさと創生課長 動向調査及び町全体の観光計画の作成、面河溪の今後の計画等、合わせて700万である。

中野 アンケート調査に200万もかけるのか。観光業者が何百もあるわけでもないし、職員が足を運び事業者の生の声を聴く姿勢が大事だ。

ふるさと創生課長 1回目の調査については業者に回っていたのだが、2回目の調査も予定しており職員も同行する。現実の調査と併せて今後

の観光振興をどうするかという分析も必要であり、専門的見地からの分析を期待している。

中野 先ほど提出を要望した業務委託の一覧表に、業務委託する理由も書き添えて提出いただきたい。

瀧野 平成16年9月2日以降は公の施設については相手を指定して管理委託契約をするようになっていると理解するがそれは正しいか。ふるさと旅行村の共立メンテナンスが途中で指定管理を辞めた際、余分に支払った指定管理料の返還ができなかったという問題があったが、今後は一切ないか。

ふるさと創生課長 指定管理制度についてはその通りである。今現在においては協定書により期間途中で指定管理者の都合により撤退した場合に指定管理料の返還を取り決める文化している。

瀧野 指定管理している施設は利益を生む施設もあれば、公民館のように直接利益を生まない施設まで様々あるが、例えば国民宿舎の屋根が傷んで1,500万、エアコンが傷んで880万、玄関回りに1,000万と協定の中で全

額をひつくるめていっているというのではなく、見れるところと見れないところの割合を決めて対策を取る必要があると認識している。細かい点まできちっとした約定が持てる契約となっているのか。

ふるさと創生課長 指定管理の協定書の中では取り決めの一覧はあるが、全国的にも指定管理制度についての問題は露呈している。指定管理に出している施設の役割、目的も踏まえ、条例改正等3月には何らかの答を出していきたい。

日野 お試し住宅の利用状況を伺う。

ふるさと創生課長 現在2軒設けており、若干空いていた期間もあったが利用はされている。

日野 久万高原町の様子を見てもらうためには、1か月から3か月、長ければ半年くらいは住んでもらうのが普通と思うが利用期間はどうか。

ふるさと創生課長 現在1か月から最長3か月という取り組みをしている。現在まで5名の利用者がおり、その内1名は町内に移住してくれた。

日野 人口減少の中で、一人でも多く移住していただきたいの思いは担当課も同じと思う。周辺地域の高齢化率の高い地区にもお試し住宅を作ること是非検討してほしい。

岡部 以前、世界遺産登録の取り組みがあった。町長も積極的に取り組みたい旨の答弁であったが、その後の状況はどうか。

ふるさと創生課長 以前のご指摘の中に、四国の道の管理が不十分であるとのことでした。若干予算の投入をして管理していきたいと内部で検討している。部分的にはツアー旅行に使えるところもあり活用して遍路道の普及に努めたい。

岡部 四国の道、遍路道双方とも大きな崩壊個所については担当課も把握していると思うが、その動きが見えてこない。担当課は町長が進める方向と同一方向を向いて進めるものと思うが、財源の確保が出来ないのか或いは担当課にその気がないのか。

ふるさと創生課長 四国の道、遍路道は町にとつても貴重な観光資源であると認識しているが延長が長いので管理については苦労している。先ほど述べたツアー等も実施しながら多くの人に利用してもらい管理にもつなげていきたい

と思う。

岡部 気持ちは分かったが、何よりも先に整備すべき所や危険か所を除去すべきである。

ふるさと創生課長 今年度損傷個所の調査を実施した。

教育長 教育委員会でも文化財審議委員会と連携し航空写真等を活用して地図を起し四国の遍路道の協議会に向けての準備を進めている。また入野福祉館とも連携して人權の観点から遍路道の路傍に点在する遍路墓の調査も実施している。

岡部 教育長も変わられ新たな教育行政がスタートしている。四国遍路の世界遺産登録の取り組みは管内自治体を取り組んでおり教育長ご自身も重要性については認識していると思う。新教育長の下、関係部署と連携を密にし教育長ご自身が先頭に立って邁進されること期待している。

教育長 個人的にも遍路道とわりわけ遍路墓については人権的視点から興味を持って取り組んできた。調査する中で見えてきた事の一つに久万山の人々は昔からこの遍路墓を守ってきたということであり、久万山のぬくもりがあったと

いう事実である。まだまだ見えてこないこともあり今後も精力的、継続的に取り組んで参りたい。

環境整備課関係

瀧野 下水道3事業と水道併せて年間11億くらいの事業予算で町民の皆さんからの料金は2億8000万円くらいである。その内町内の大口事業者が大半を支払っている。その事業者も人口減少の中で撤退せざるを得ない状況も考えられるが、他の自治体と比較すると水道料金は結構高いがどのような対策を考えているか。

環境整備課長 水道料金の見直しについては5年に一度の見直しを行っている。現在の水道使用料については県下で2番目に高い水準となっており住民への負担増を抑えるべく十分協議しながら進めている。

瀧野 下水道でマンホールポンプが100基あまり設置されている。そろそろ修繕も発生する時期だが対策は考えているか。

環境整備課長 マンホールポンプについては公共下水道で25施設、農業集落排水施設で

76施設ある。最近修繕数が増えているが計画的に対応していく。

瀧野 副町長をトップに行財政改革を進めている。環境整備課では起債は減少しているが、今後修繕費がかさんでくる。担当課としても財政的な面も踏まえて検討委員会等で町民の皆さんにも理解を頂ける将来構想を練る時期に来ているかどうか。

環境整備課長 下水道の企業会計化については国からも指導が来ており計画していく必要がある。上下水道の経営についても検討委員会等を立ち上げ将来に向けて健全な経営ができるよう進めていく。

建設課関係

瀧野 以前から問題になっているが林道開設に伴い水路が狭く溢れてしまう。そこから床下浸水等の発生につながるが災害時の町道、農道を含めて調査はできているか。

建設課長 大体は把握して改良してきているが、今出来得るところから実施している。
瀧野 防災行政無線や光通信の問題で大きな予算はいるが、生活インフラの整備が後回しになつてはならない。どれく

らいの覚悟をもって取り組むのか伺う。

建設課長 予算等も関係するが理事者と相談しながら、特に緊急度の高い所から改良等に取り組んでいく。

玉井 (株)美川に除雪や道路整備を委託しているが、運転士や技能士の確保はできているのか。

建設課長 今年から2名体制で行うと聞いており、(株)美川が担当する路線については対応可能と聞いています。

可決すべきものと決定

議案第92号 浄化槽事業特別会計補正予算審議

可決すべきものと決定

議案第101号 町道路線の変更について

可決すべきものと決定

天野 その他について語る

岡部 決算特別委員会の決算状況の説明の中でも触れられましたが、林業関係で膨大な量の未利用材の発生が予想されることから、木質バイオマス発電についても新産業育成も含

めて早急に町が取り組む方向性や指針を示す必要がある。町長は今までの議会答弁においても木質バイオマス発電やボイラーによる町づくりの推進について言及されてきたが改めて考えを聞きたい。

町長 機会あることに答えてきたが、全国的にも木材の未利用材の利用というのは課題となつている。林業、農業は我が町にとつても播るぎない産業であること自他ともに認める。この未利用材を活用することが多くの林家の皆さんに福音をもたらす最も肝要な部分であると認識している。議員各位においても講習や研修において研鑽されており、その方向性については皆さんと同じ方向を向いている。一部ではバイオマス発電の動きも聞いているが原材料の確保が十分できるか一緒に考えていきたい。今後においても重要性を充分認識しながら林業特別委員会とも審議し、精力的に前向きに検討を重ね成就できるように努めていく。

岡部 若者が地域で仕事で

きる環境を構築するためにも、自伐林家の育成や新規林業従事者の受け皿の拡充施策を提言する。自伐林家等の林業機械導入助成金の上限額の増額と未利用材流通助成金を現行の1万トンから段階的に増額し山からの未利用材搬出の促進を促すことが町の林業施策に対する積極的な姿勢を示すことになると思うがどうか。

町長 林業担い手会社も十分活躍いただいているし、一人親方の自伐林家も増えてきていると認識している。機械補助のアップと未利用材の補助増額をとのことであるが、担当課とも協議検討中であり、移住して林業に取り組みたい方への補てんも含めて検討していく。

瀧野 現在の未利用材の総量と事業実施において山にどれくらいの収益がでるのか。

町長 今私たちの町から全体で20万立米くらいの材が出ています。未利用材については全体の数字は今未確認だが相当数あると思う。一部未利用材も利用されているが山に据え置かれる総量からお金に換算することトータルに精査している。ので少し時間をいただきたい。

瀧野 バイオマス発電に関する私の認識では2000kWの発電設備に12億から15億かかり、材料の未利用材が2万8千トンぐらい必要となる。事業推進には担当課が実数や経営的数字を早く掌握して現実味を帯びた形で進めないと、いいですねえ、やりたいですねえということだけではいけない。町民の皆さんの活性化につなげるためにもスピード感をもって進めるべきだ。

町長 今まで山に捨て置かれていたものを利用していいことという事であり、担当課とも精力的に協議しているのだから遠くない時期に報告出来ると思う。

瀧野 事業推進については現実味が帯びた形でやっていただきたい。鳥獣害駆除の補助金の支払いが遅いと聞くがどうなのか。

林業戦略課長 10月末までの対象について12月10日の支給となった。今後は遅延のないよう努力する。

日野 大事な問題としてトマト、ピーマン農家の高齢化による後継者問題がある。トマトにしても現状を維持するためには毎年3名は農業公園の

卒業生が必要だが現実には育成できていない。3年5年後を考えると不安になるが、新規の就農者に対する補助に比べると、地元の後継者を育成していく事に対する助成は薄く感じる。もう少し暖かい手当はできないか。

農業戦略課長 後継者が育ち難いというのは農業に限ったことでもないが、地元の後継者に農業の魅力を伝える努力が足りていないことに対しては検討すべきものと思う。

日野 素晴らしい悠長な答弁で納得のしようがない。農業は少し特別扱いしても守らねばならない町の基幹産業であり、もう少し真剣な考えを持っていただきたい。

農業戦略課長 担い手対策については鋭意取り組んでおり、担い手育成実行プランの予算も認めていただいた。今のご指摘は町外からでなく地元でということであり、地元でアピールできること考えてみたい。

日野 トマトの生産量を見ても最盛期には8億、9億の売り上げがあったが、最近では5億、6億くらいに下がってきている。高齢化率から考えても生産農家の減少は目に見

えている。地元の農家をどうすれば守れるか、地元の足元を固める事は大事なことでと思う。移住者も大歓迎だが、去るは入れるはでプラス、マイナスになることもある。担当課として何をなすべきかは分かっていると思うがどうか。

農業戦略課長 20年で人口が半数になつていくのではという人口激減時代の中で農業者担い手対策の重要性は十分理解している。町外からの研修生と地元からの後継者が生まれてくること目指す方向であるが、現実問題は非常に難しい。地元に対するアピールも含めて今後検討する。

日野 農業公園の卒業生で残っているのは半数を切っているのではないか。

農業戦略課長 平成29年度の状況では累計研修生43名に対して23名町内で就農している。

日野 半数の実績であるが、だから私は地元の後継者作りがいい考えがないか聞いている。総合的にトマト農家を増やせること考えていただきたい。

玉井 現在黒藤川地域に小水

力発電が計画されているらしいが、町はどこまで把握しているか。

副町長 話は聞いたことがありますが今の段階では調査中であると理解している。正式な決定ができれば報告、協議させていただきます。

議会最終日

町長

(職員の交通事故に対する謝罪)

役場職員が交通事故を起こし、町民お二人にけがをさせてしまい、町民の信頼を失墜させたことに心からお詫び申し上げます。又、事故に遭われた方にも心からお見舞い申し上げます。今後は、事故再発防止について更に真剣に取り組んでいく。

報告

(12月12日議案審議においての質問に対しての答弁)

(総務課長)

公用車の修理費用の状況については、29年度は発生無しであり、30年度は2件発生し、13万1000円であり、いずれも車両保険で対応している。

議案第88号 平成30年度久万高原町一般会計補正予算(第3号)

議案第89号 平成30年度久万高原町国民健康保険事業特別

会計補正

予算(第2号)

議案第90号 平成30年度久万

高原町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

議案第91号 平成30年度久万

高原町訪問介護事業特別会計

補正予算(第1号)

議案第92号 平成30年度久万

高原町浄化槽事業特別会計補

正予算(第1号)

第88号から第92号まで委員長

報告ののち、全員一致で可決

質疑

熊代

面河住民センターのアスベ

ストの件で過去5回の調査費用はいくらか。

総務課長

施設との関連および実施設

計の中等で行っている。

熊代

煙突部分を蓋で処理する

とのことだが、蓋で良いの

か、除去した方が良いのか

100%安全確認できるの

か。

総務課長

煙突・機械室は今後使用し

ない部分であるが、飛散を防

止する方法を検討した。当然、

アスベスト除去概算費用見積

りも行ったが、1100万必

要になることから、経費的な

面から今回は密閉という方法

を選択した。確実な密閉を行

う為に実施設計の審査および

県と上位機関のチェックを受

ける。

熊代

県が検査してダメであれば

除去工事を行うのか。

総務課長

専門的な方の判断をいただ

いており、事前に保健所の審

査もいただき間違いないと考

えている。

熊代

工事に入る前に分らなかつ

たのか。又、業者の選定は大

丈夫なのか。

総務課長

今まで4回調査した。アス

ベストの有無については、設

計図書・目視・疑義のあるとこ

ろの分析調査によって対応し

ている。今回の業者も2回の

調査を踏まえて、目視確認で

機械室の調査を行っているが、

今後において、事前の調査を

どこまで行うのか等、精査し、

関係機関の指導を受けてい

生した場合、必要性・金額の

妥当性等を判断して必要最低

限により増額の契約変更を

行っていく。業者のペナルテ

イーについては、上位機関に

も確認した上で、業者が作業

を行っている。通常の対応で

あると判断している。

ふるさと創生課長

国民宿舍面河の件について

は、目視調査・石綿の存在が

疑われる個所の検体を抽出

し、含有調査を実施して結果

無い事が分っている。しかし、

万が一の際には県の指導を仰

ぎ厳正に対処する。議会にも

熊代

万が一はあり得るのか。予

算計上後、追加が出てくると

いう認識か。

ふるさと創生課長

国民宿舍面河の件について

は、現時点でアスベストは無

いと判断している。万が一解

体工事中に見えられた場合に

は、県の指導を受け適正に処

理していく。

中野

工事の財源で防災減債基金

繰入金とあるが、工事に充て

る理由は。

総務課長

別発注工事では無い。6月

予算計上の際にも防災減債基

金を財源として計上している。今回も同様である。

中野 庁舎の方は耐震化ができて、住民センターの方が大丈夫ということではなかったのか。

総務課長 面河支所・住民センターどちらも耐震工事が必要な同じ条件であった。

住民が求める機能として住民センターの方を選択した。

天野 機械室はいたって狭い範囲だが除去費用は1100万と金額が高いが。

総務課長 アスベストの除去は、量よりも作業員の健康管理・作業中の屋外飛散防止等面積の大小に関わらず費用がかかる。

天野 いずれ将来において機械室もきれいにする必要があるが、全体を通じて見直すことはできないか。

町長 追加工事の費用については極力軽微なものに抑えたい。密閉作業等は外に漏れることの無いよう県の指示も受けてしつかりやっていく。今後、撤去する際には出てくるが、当分の間は心配ないと考えて

おり、財政上最善の対応策であり、理解いただきたい。

天野 機械室は狭い空間であるから一緒に除去できないのか。

総務課長 財政的にも厳しい状況であることから、最小の経費で対応していくことをご理解いただきたい。

熊代 来春予定の愛媛県議会選挙に砥部在住で町内出身の方を町長と塩崎代議士が応援していると聞き及んでいるが本当か。

町長 塩崎代議士は関係していない。私自身が県議から町政に出馬しており、県政の立場から応援いただくことが必要である。久万高原町にスタンスをおいて活動できる可能性のある方に出ていただきたい意味で、その準備をしている。

熊代 議会との意見交換はできているのか。

町長 町民からも町長と議会は一体でなければとの声も聞き、町民も戸惑うという意見もあることから所見を伺う。

町長 私の県議に関する基本的な考え方は、この町の出身で町

の課題等に県政の中でカバーしていただき、町のことを解っていただけの方が適任だと思っっている。議会へはお願いしていないが、自民党の支部長等には挨拶している。

熊代 町のリーダーとして町民を不安にさせてはいけない。結果が得られなかった場合の覚悟をお聞きしたい。

町長 県議には大変苦しい課題もある。連携を取りながら、一緒に頑張るという意味であり、町民に理解いただけるよう話をしていく。又、結果が出るように最善を尽くしていく。

中野 光通信網の整備は、2021年3月までに整備が可能なのか。

町長 熊代議員の一般質問においても3年間で整備して行くこと答弁している。

中野 3年間と言いつながら未だ工事に入っていないが、果たして間に合うのか。NTTとどんな交渉をしているのか。

町長 町内を3つのブロックに分けて順次工事を進める。最初と最終年とのタイムラグは

あるが、短期間施工がベストであることは承知している。近々、NTTと会って短縮について言及する。結果は議員にも報告する。

中野 町内の川下は後回しとなり、柳谷は最後になるがその理由は。

総務課長 NTTからも久万局から整備する必要があり、技術的に3ブロックに分け、スケジュール上からも現在の作業順序となることとなった。

中野 今回の事業は生活インフラ整備の事業であることから、業者数を増やすなどして地域格差をなくすべきでは。

総務課長 この事業は、町の生き残りを掛けた基盤整備であることは承知しており、NTTへも働きかけをしていく。

熊代 上高振興の件で、寮の建設も計画しているが、上高の懇談会の際、校内アンケートにおいてPTA会長から3割の方が補助金を受けていないという認識のようだが、そのような認識に、町長・教育長はどの様に感じているのか。

上高には、皆さんのご理解を得て1700万くらい助成しており、ありがたいとの評価もいただいている。

町としては、提言のあった補助について精一杯努力している。今後、具体的な質問があれば、そのことにお答えしていく。

議案第93号 久万町・面河村・美川村・柳谷村新町建設計画の変更について

委員長報告ののち、全員一致で可決

議案第101号 町道路線の変更について

併せて、その他で、木質バイオマスの発電事業等による町づくりの推進に精力的・前向きにしつかり検討していく、イノシシ駆除補助金の支払遅れ解消、地元農家の後継者に農業の魅力を伝える努力をしていく等の答弁があった。

委員長報告ののち、全員一致で可決

議案第102号 平成30年度久万高原町一般会計補正予算(第4号)

全員一致で可決

議案第103号 久万高原町交流拠点施設の駅「天空の郷さんさん」地域食材展示即売施設の指定管理者の指定について

全員一致で可決

報告第23号 損害賠償に係る和解及び損害賠償額の専決処分の報告について

総務文教厚生常任委員長報告ののち、全員一致で可決

報告第24号 損害賠償に係る和解及び損害賠償額の専決処分の報告について

産業建設常任委員長報告ののち、全員一致で可決

報告第25号 損害賠償に係る和解及び損害賠償額の専決処分の報告について

総務文教厚生常任委員長報告ののち、全員一致で可決

私学助成の充実強化等・学校におけるエアコン整備促進及びブロック塀等の安全対策・ヘルプマークの更なる普及促進・精神障がい者に対する公共交通機関の一層の運賃割引・後期高齢者の窓口負担の見直し・森林環境譲与税(仮称)を活用した森林整備の推進等に関する意見書6件について可決した。

町民との懇談会の報告
10月17日から12月18日の間で6つのテーマに分けて6回開催した。懇談会の詳細は、次号で掲載予定。

議会を傍聴しませんか！ 3月定例会(予定)

3月7日(木)
8日(金)
11日(月)
12日(火)
13日(水)~17日(日)
18日(月)

一般質問
議案審議
総務文教厚生常任委員会
産業建設常任委員会
休会
本会議最終日

問い合わせ先 久万高原町議会事務局 TEL / FAX 0892-21-0134

編集後記

今回の議会の一般質問においても、その内容は林業、農業、子育て環境、財政改革と多岐にわたりました。議員活動をとおして、また、町民の声を反映しての質問であったと思います。来月3月議会には、新年度予算が提出されます。いままでの、議会からの質問、提案がどのように反映されているのか、町民の生活、福祉の向上を考えているのか、しっかりと議論して、より良い町づくりにつながる議会にしなければなりません。

寒さもこれからが本番だろうと思いますが、お体には十分お気をつけください。

(中野)